

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
基準日	毎年2月末日 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 http://www.takeuchi-mfg.co.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(お問合せ先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社ホームページ
(<http://www.takeuchi-mfg.co.jp/>)



証券コード 6432

世界初から世界の TAKEUCHIへ

TAKEUCHI: From World First to World Leader



第52期 中間報告書

平成25年3月1日から平成25年8月31日まで

機種名 TB295W

株式会社 竹内製作所



企業理念

世界初から世界の TAKEUCHI へ

- 私たちは、創造、挑戦、協調の精神で切磋琢磨し、TAKEUCHI のものづくりを追求します。
- グローバルな視野と感覚をもって、お客さまに信頼される商品とサービスを提供します。
- 一人ひとりがつまみ力を活かし、地球にやさしく、豊かな社会の実現に貢献します。

社 是

夢と若さをもって、
より高い目標に
向かって果敢に行動する

挑戦
Challenge

豊かな感性をもって、
ニーズに応えた
商品開発をする

創造
Creation

和と思いやりの心をもって、
調和の取れた社会との
共生を図る

協調
Cooperation

経営には緊張感と健全な危機感が不可欠である。

人材とは優秀な能力とやる気の両面を兼ね備えている人を指す。

私たちはチャレンジ精神に満ち、活気ある楽しい職場づくりに努力する。

私たちは正しい企業活動を通して人々の幸福を喜びとする。

代表取締役社長 竹内 明雄

To Our Shareholders

株主の皆様へ



マーケットニーズに応じて
積極的な事業の拡大と成長を
追求してまいります。

TAKEUCHI

株主の皆様へ第52期中間報告書をお届けするに当たりまして、平素より賜っておりますご支援に対し、心から厚く御礼申し上げます。

当第2四半期累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）におきましては、当社の主要なマーケットである米国市場においては、住宅投資をけん引役とした米国経済の緩やかな回復が続き、その動きは自動車や家具など個人消費の拡大につながっています。当社が供給している小型の建設機械は、住宅関連工事に使用される比率が高いため、このような米国市場の環境に積極的に対応することが、当社の業績の向上に直結します。当社は、米国での需要増に対応して、ミニショベル、油圧ショベル、クローラーローダーの販売強化を進めるとともに、今年から供給を開始したスキッド・ステア・ローダーも加わり、製品ラインアップも拡充しました。さらに、ディーラー網の拡充にも一層注力してまいります。米国では、こうした住宅関連工事の増加に加え、建設機械の入れ替え需要、公共工事や民間設備投資の増加が見込まれることから、米国市場の

取り組みをさらに強化してまいります。

一方、もう一つの当社主要マーケットである欧州では、財政の債務問題の抜本的な解決策が見いだせないまま景気の低迷が続き、建設機械の需要も低迷しています。今後の欧州のミニショベル市場の状況も横ばいが続くものと考えられますが、ユーロ圏の一部経済指標に回復の兆しが見えることから、最悪期は脱したとの見方もあります。欧州市場に対しましても新製品の投入により、販売の拡大に取り組んでまいります。

今後も当社は、事業の積極的な拡大に努め、株主の皆様のご期待に沿えますよう様々な経営課題に対応してまいります。株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年11月

代表取締役社長 竹内 明雄

平成26年2月期第2四半期累計期間の概況

当社グループを取り巻く市場環境

当社グループの主力市場である米国及び欧州の当第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）の経済は、米国においては、堅調な住宅需要により住宅市場は改善の動きが継続し、個人消費も回復傾向にあったことから内需が安定的に推移し、景気は総じて底堅く推移いたしました。欧州においては、後半になって一部経済指標に回復の兆しがみえるようになったものの、個人消費や設備投資が低迷し輸出も伸び悩んだことから、多くの国で景気は低調に推移しました。

当第2四半期連結累計期間の業績

このような環境の中で、米国での当第2四半期連結累計期間のミニショベル、油圧ショベル及びクローラーローダーの販売台数は、需要が増加したことと販売強化に取り組んだことにより、前年同期と比較して大幅に増加しました。一方、欧州での当第2四半期連結累計期間のミニショベル及び油圧ショベルの販売台数は需要の低迷により減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は販売台数が増加したことにより、280億5千3百万円（前年同期比19.4%増加）になりました。

利益面につきましては、円安により利益率が改善したことと原価低減により、営業利益は17億7千7百万円（前年同期比38.3%増加）となりました。また、経常利益は為替差益を11億5千5百万円計上したことなどにより30億1

千6百万円（前年同期比146.6%増加）、四半期純利益は税金費用を5億9千3百万円計上したことにより24億2千4百万円（前年同期比132.6%増加）となりました。

通期の見通し

当社は、平成25年10月7日に、通期の業績見通しを上方修正いたしました。売上高を503億円（前回発表予想468億円、前回発表予想からの増加額35億円）、営業利益を31億円（同26億2千万円、同増加額4億8千万円）、経常利益40億4千万円（同30億円、同増加額10億4千万円）、当期純利益28億5千万円（同21億3千万円、同増加額7億2千万円）としました。

業績の見通しを修正した主な要因としましては、米国での建設機械の販売が、住宅市場の回復により増加する見通しとなったこと等によるものです。利益の面では、売上高の増加及び外国為替レートを円安に見直したことにより、営業利益の増加と、営業外収益において為替差益を見込むことにより、経常利益が増加し、当期純利益も増加する見通しとなりました。

第3四半期以降の外国為替レートは、1米ドル＝95円、1英ポンド＝150円、1ユーロ＝130円、1人民元＝15.4円を前提としております。

また、株主の皆様への利益還元につきましては、経営体制の強化並びに今後の事業展開に備えるために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続に努めることを基本方針としています。当期は、期末の1株当たり配当金を、前期に比べ5円増配の13円とさせていただきます。

連結財務諸表（要旨）

貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	当第2四半期 平成25年8月31日現在	前 期 平成25年2月28日現在
【資産の部】		
流動資産	40,088	43,027
固定資産	7,884	8,024
有形固定資産	6,828	6,738
無形固定資産	541	379
投資その他の資産	514	906
資産合計	47,972	51,051
【負債の部】		
流動負債	13,416	19,836
固定負債	645	659
負債合計	14,062	20,496
【純資産の部】		
株主資本	35,088	32,794
資本金	3,632	3,632
資本剰余金	3,631	3,631
利益剰余金	27,827	25,533
自己株式	△ 3	△ 3
その他の包括利益累計額	△ 1,178	△ 2,239
その他有価証券評価差額金	9	5
為替換算調整勘定	△ 1,187	△ 2,245
純資産合計	33,910	30,554
負債純資産合計	47,972	51,051

損益計算書

(単位：百万円)

区 分	当第2四半期累計 自平成25年3月1日 至平成25年8月31日	前第2四半期累計 自平成24年3月1日 至平成24年8月31日
売上高	28,053	23,503
売上原価	23,620	19,715
売上総利益	4,433	3,787
販売費及び一般管理費	2,656	2,503
営業利益	1,777	1,284
営業外収益	1,254	136
営業外費用	15	197
経常利益	3,016	1,223
特別利益	12	5
特別損失	11	0
税金等調整前四半期純利益	3,018	1,228
法人税、住民税及び事業税	699	215
法人税等調整額	△ 105	△ 28
四半期純利益	2,424	1,042

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当第2四半期累計 自平成25年3月1日 至平成25年8月31日	前第2四半期累計 自平成24年3月1日 至平成24年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,914	△ 544
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 368	△ 166
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 890	△ 1,033
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 531	60
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	2,124	△ 1,684
現金及び現金同等物の期首残高	3,287	6,657
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,412	4,973

世界最大の建設機械見本市 「bauma 2013」に出展

1954年からドイツ・ミュンヘンで開催されている「bauma (パウマ)」展は、建設機械、資材製造・加工及び建設用車輛における、世界最大の建設機械専門見本市です。

今回はドイツ・新ミュンヘン国際見本市会場にて2013年4月15日から4月21日までの7日間開催され、57カ国から3,420社の出展があり、200カ国以上の国々から53万人の来場者がありました。

当社は数多くの製品の展示とデモンストレーションを行い、連日大変な盛況ぶりでした。



発行可能株式総数	46,000,000株	単元株式数	100株
発行済株式の総数	16,333,000株	株主数	7,954名

Corporate Data
会社概要 (平成25年8月31日現在)

商号 株式会社竹内製作所
 (英文社名) TAKEUCHI MFG. CO., LTD.
 本店所在地 〒389-0601
 長野県埴科郡坂城町大字坂城9347番地
 (同所は登記上の本店所在地で、実際の業務は下記で行っております。)
 本社 〒389-0605
 長野県埴科郡坂城町上平205番地
 代表者 代表取締役社長 竹内 明雄
 設立年月日 昭和38年8月21日
 資本金 3,632百万円
 事業内容 建設機械及び攪拌機等の開発、製造及び販売
 従業員数 700名 (連結)

● 役員の状況

代表取締役社長	竹内 明雄
取締役副社長	竹内 敏也
取締役副社長	依田 信彦
取締役	真壁 幸雄
取締役	神山 輝夫
取締役	宮崎 義久
取締役	宮入 健誠
常勤監査役	草間 稔
監査役	森田 弘毅
監査役	植木 芳茂

(注) 常勤監査役草間稔、監査役森田弘毅及び植木芳茂は、社外監査役であります。

● 主要な工場及び営業所

工場	村上工場	長野県埴科郡	営業所	東京営業所	東京都港区
	戸倉工場	長野県千曲市		大阪営業所	大阪市中央区
	千曲工場	長野県埴科郡		名古屋営業所	名古屋市中川区

● ネットワーク

日本	株式会社 竹内製作所
米国(販売子会社)	TAKEUCHI MFG. (U.S.), LTD
英国(販売子会社)	TAKEUCHI MFG. (U.K.) LTD.
フランス(販売子会社)	TAKEUCHI FRANCE S.A.S.
中国(生産・販売子会社)	竹内工程機械(青島)有限公司

※上記以外の地域における販売は、各国のディストリビューター(当社とディストリビューターシップ契約を締結した販売店)を通じて販売を行っております。